



長子配布

学校だより

西っ子

Try & Error & Cheer

37号 令和8年2月10日
文責：校長小川 修

アイデア満載 立体工作展

ふれあいルーム（東校舎2階）には、子ども達のアイデアあふれる工作作品が展示されています。ハサミやカッターナイフ、電動糸のこぎり、釘打ち、など学年に応じて取り扱う用具を経験します。作品作りに向かう子ども達は、夢中になって取組みます。その夢中になっている時間が重要なのです。表現したいことを自分がもっている技術で精一杯表そうとする態度や、うまくいかない時に試行錯誤しながら納得いくまでやり遂げる力など、「自分」と向き合うことで身につく力がそこにはあります。

2月14日（土）まで展示されていますので、学習参観に来られた時にご覧ください。



雪遊び

今年も雪遊びができるくらいの積雪があり、子ども達は元気な喜びの声をあげながら走り回っていました。



寒さがピークとなる2月です。ここを乗り越えたら、春の気配を感じられるようになるでしょう。

春が来れば、いよいよ卒業・・・。

それまで、精一杯自分らしさを磨きながら、思い出も増やして欲しいです。



イタリア・ミラノ コルティナ冬季オリンピック

テレビをつければ、オリンピックの種目ごとの速報結果やダイジェストが流れています。

雪に関係する競技、氷に関係する競技・・・佐賀県にはなじみがない競技が多いので、子ども達の関心も薄いような感じがします。

メダルを獲得した選手のインタビューは、感動覚えるのですが、メダルを逃した選手の数の方が圧倒的に多く、その方たちがテレビに映ることも少ないのでしょうか。それでも、オリンピック選手となるだけでもすごいことなのですが。

「4年間、この時のためにがんばってきた・・・」という選手の言葉は、とても重いですね。4年という時間は、想像もできないほどのきつさや苦労があったことだと思います。それなのに勝負は一瞬です。テレビの解説者が叫んでいました「わずか20数秒の演技が！・・・」と。本当に厳しい世界です。

ここまでとは言いませんが、子ども達の生活でも同じことがあります。練習を重ねて重ねて、本番はわずか数分。しかし、その数分のために、何倍も努力した時間こそ価値あることだと気づけば、自己の成長を感じることができます。

宮本武蔵 千日の稽古を持って 鍛(たん)とし 万日の稽古を持って 錬(れん)とす
「鍛錬」 そして 勝負は 一瞬